

1月のおすすめ本

・ハリーのセーター

ハリーは黒いぶちのある白い犬。お誕生日におばあちゃんからセーターをプレゼントされましたが、バラの模様が気に入りません。お出かけのときどこかへ脱ぎすてようとする、そのたびに親切な人たちが追いかけてきて届けてくれ、ハリーはしょんぼり。けれどもその後セーターは思わぬことに。



・ねずみくんとゆきだるま

大人気のねずみくんシリーズ、15番目のお話は、雪あそび。冬、雪におおわれる世界で、子どもたちが歓声をあげてあそぶように、ねずみくんたちが幸せそうに遊んでいます。

うさぎくんからかしてもらったスキー板をはいて、おっかなびっくりのねずみくん。「みんなすごい！」と仲間のことを感心してばかりのねずみくんが、みんなに「すごーい！」と言われるオチが待っていますよ。どうぞお楽しみに。



2月のおすすめ本

・せつぶんだまめまきだ

節分の由来がわかりやすく描かれています。
なぜ節分にいわしを食べるのか、豆をまくのかなど
いろいろいわれある節分ならではのことを物語りに
織り込みながら説明してくれます。



・だんろのまえで

あるひ山の中でまよってしまったぼく。雪もふってきて
寒くて、とっても疲れて歩いていました。すると、一本の
大きな木にドアがついています。ぼくは休ませて
もらおうとドアをあけると、そこには、だんろをかこむ
動物たちがいました。火をながめてるうちに、「ぼく」は
なんだかゆったりとした気持ちになり、また、外に出て
行く元気がわいてくるのでした…。

自然の中で生活している画家・鈴木まもるが、
実体験をもとに、あたたかな場所、そのままの姿を
受け入れてくれる仲間のたいせつさ、そして、なにか根源的なゆるやかな時間を伝える絵本です。

